

2023年度

学 校 関 係 者 評 価 結 果



学校法人 IGL学園

IGL医療福祉専門学校

評 価	適切－４・ほぼ適切－３・やや不適切－２・不適切－１
-----	---------------------------

1) 教育理念・目標・育成人材像

項 目	自己評価	委員評価
1 理念・目的・育成人材像	4	4
2 教育の特色	3	4
(委員からの意見) 学校から高校への周知はされており、現時点で出来ることはされている。 教育理念が明確に示されており、専門的な知識や技能を備える人材育成に努めている。 関係業団体との連携、実践的な職業教育を提供し、各学科の専門技能を備えた人材の育成に努めている。 しっかりと 揺るがない理念をもって人材育成を行っている。 関係業界団体との連携により、業界の魅力発信に努めるとともに、新入生の獲得に繋げることが望まれる。 法人の理念である「隣人愛」の育成を教育プログラムに組み込んで、対人サービスの質向上に繋げると良い。		

2) 学校運営

項 目	自己評価	委員評価
1 運営方針	4	4
2 事業計画	4	4
3 運営組織	4	4
4 教職員の評価・育成	3	4
5 人事・給与制度	3	3
6 情報システム	3	3
(委員からの意見) 幹部会実施とともに情報共有と課題解決のスピード化が図られている。 事業計画や年間行事を滞なく遂行できている。 人員不足により、1人の教員が受け持つ科目が多いように感じた。 教育の充実には、指導者（教職員）の人員の確保や教員育成、労務環境においても充実し、教員の自己評価においても高評価であることが理想だと思うので、3の評価が4になることを期待したい。 副校長を置くのはとても良いが、校長との事業仕分けと権限をどこまで分担するか整理が大切である。 卒業生（OB,OG）との情報交換に加え、業界団体と教職員との連携を強化するのが良い。 教員の専門性を、更に引き出せる工夫を求める。		

3) 教育活動

項 目	自己評価	委員評価
1 目標の設定	4	4
2 教育方法・評価等	4	4

3 成績評価・単位認定等	4	4
4 資格・免許取得の指導体制	4	4
5 キャリア教育等	4	4
(委員からの意見) 高い合格率を維持している。 単位認定等、成績評価に関しては問題ない。 キャリア教育や職業実践専門課程において、現場での実践力を養うための授業や連携が進み、充実している。 現実的な目標設定を定め、その目標に向けての具体的に施策を打ち出せている。 学生アンケートや個別に面談など生徒に寄り添う工夫がなされている。 教育活動においては十分なフォローアップがなされている。		

4) 学修成果・教育成果

項 目	自己評価	委員評価
1 学修成果	3	3
2 就職率	4	4
3 資格・免許の取得率	4	4
4 社会的評価	3	3
(委員からの意見) 資格取得に特化したカリキュラムで、合格率も高く良い。 教職員間の情報共有の体制はできあがっているため、生徒一人ひとりの評価に着実に落とし込むと良い。 社会的評価において、卒業生の活躍が分かる仕組み（同窓会等）の工夫は必要であり、活躍を評価等できると良い。 IGLの卒業生の活躍が表に出るのは学校にとってもメリットではないか。		

5) 学生支援

項 目	自己評価	委員評価
1 修学支援	4	4
2 就職等進路	4	4
3 学生相談	4	4
4 学生生活	4	4
5 中途退学への対応	4	4
6 保証人（保護者）との連携	4	4
7 卒業生・社会人支援	3	3
(委員からの意見) 心理カウンセラーによるメンタルフォローなど学生への支援は、確実に充実してきている。 学生と向き合える工夫が多いため、手厚いフォローが出来ている。		

キャリアマップの導入等、新たな取り組みを実践している。
鍼灸師を獲得する側として、卒業生で就職していない方々の求人バンクのようなのを学校に取り入れて頂きたい。
卒業生に関しては同窓会の連携が活発になればと考える。
社会的評価において、卒業生の活躍が分かる仕組み（同窓会等）の工夫は必要であり、活躍を評価等できると良い。
IGLの卒業生の活躍が表に出るのは学校にとってもメリットではないか。
退学者を減らすための、普段からのアプローチは、もう少し必要である。

6) 教育環境

項 目	自己評価	委員評価
1 施設・設備等	4	4
2 学外実習、インターンシップ等	4	4
3 防災・安全管理	4	4
(委員からの意見) 校内の安全・安心を形作っている。 充実した設備整備、教育体制の整った環境整備がなされている。		

7) 学生の受入れ募集

項 目	自己評価	委員評価
1 学生募集活動	4	4
2 入学選考	4	4
3 学納金	4	4
(委員からの意見) 募集活動はしっかりと行われている。 学生と一緒に SNS 発信を実践するなど積極的に外部発信もされており、中身も充実して、わかりやすい。 ホームページの充実等改善されており、専門性のある分野の特徴や紹介が広く周知できている。 さらなる生徒数の増加に繋げて欲しい。 社会人は IGL で、高校卒業生は朝日のイメージがある。		

8) 教育の内部質保証システム

項 目	自己評価	委員評価
1 関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）	4	4
2 個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）	4	4
3 学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）	4	4
4 改革・改善	3	4
5 教育情報の公開	4	4
(委員からの意見) 着実に資質向上に繋がれるようさまざまなアクションがとられている。 もともとのコンプライアンスなどの関係法令順守がしっかりなされているので、これまで通り遂行して欲しい。		

改革や改善も自己分析もなされ 何が課題なのかも理解されておられるので問題ない。

学校関係者評価委員会を通じて学校の運営や教育活動を評価し、自己点検・評価報告書の内容が次年度の事業計画に反映され、改善・改革に繋がっている。

9) 財務

項 目	自己評価	委員評価
1 財務基盤	3	3
2 予算・収支計画	4	4
3 監査	4	4
4 財務情報の公開	4	4

(委員からの意見)

学生数の増加に期待する。

物価高騰によりあらゆる事が維持困難になっており、学費の改定などで対応するかと思うが、今後の動向が問題だ。

人件費比率の把握と管理に関する意識を高め、事業活動収支への悪影響を最小限に抑えるよう努めて欲しい。

10) 社会貢献・地域貢献

項 目	自己評価	委員評価
1 社会貢献・地域貢献	3	3
2 ボランティア活動	4	4

(委員からの意見)

学園祭の実施は評価できるが、さらに地域の人たちの参画を促し、地域との連携を進めて欲しい。

歯科衛生学科では、歯科衛生士会の学生会員の制度があり、学生から公衆衛生活動に参加できるイベントもあるが、IGLの学生会員入会者は0人なので、入会することでの社会貢献や地域貢献の必要性を伝えて欲しい。

コロナ禍の状況で外部への交流が難しい時期ではあったが、コロナ5類移行を受けて、今後は地域貢献活動を積極的に行うように望む。

11) 国際交流

項 目	自己評価	委員評価
1 留学生の受入れ・海外への留学	4	4

(委員からの意見)

海外留学生には細かなサポートが必要になると思うが、充実した整備体制を取られている。

今後、確実に日本の若者が減少していくことを勘案し、外国からの留学生を拡充させるために、外国から選ばれる広島
の学校を創る必要がある。

地域や業界とも協力しながら、しっかりと外国人学生の生活支援体制を構築する必要がある。

留学生が増えたことで、教育の質の担保が大変だと思うが、頑張ってもらいたい。

文化や宗教などの違いなど あらゆる観点から、苦勞が伺われる。

留学生はこれからも増えると思うので 根気強くフォローできる体制を整えて欲しい。

外国も日本より生活水準が上がってきており、日本の魅力がいつまで持つかが問題だ。